# 東京 11 R　発走 15：35

第53回 京王杯2歳ステークス(GⅡ)
（2歳・オープン・(国)(指定)・馬齢）

芝1400

レコード 1.21.2
タガノミューチャン 54 内田博 24年10月６日

〔今回推定タイム〕
良 1.22秒台
重 1.25秒台

〔成績の見方〕
①場所(馬場状態)月日
②競走名　条件　着順
③距離　時計
④体重　ペース　秒差
⑤負担重量　騎手
⑥頭数　枠順　人気
⑦通過順　前半３F
⑧短評　後半３F
⑨１着または２着馬名

Ⓢ…スローペース
Ⓜ…平均ペース
Ⓗ…ハイペース
※通過順の○数字は不利を示す。

左右芝ダート　東京芝(ダ)(芝)(ダ)(芝)(ダ)(芝)

## グリーンチャンネル解説者

黒津　紳一　桧原　正行

意識的に控える競馬に出た前回が、さらに凄みを増した切れ味。相手が強化されてもそれを一段上回る成長を見せるタワーオブロンドン。中間絶好、直線長い東京ももちろん歓迎だろう。

レース上がりを1秒3上回る脚で大外一気。ノーステッキのまま後続を3馬身半突き放した前走が圧巻だったタワーオブロンドン。直線が長い東京で決め手全開ならGⅡのここでも首位有望。

## 東京 11R　TMイチ推し 1 タワーオブロンドン

大柄でも一切無駄のない馬体　ド迫力

**11R**

1 **タワーオブロンドン** 美坂 ルメー 1000 53.9 800 39.8 600 13.1 200 ラスト 脚いろ 馬なり
12美坂上翔 584 426 139不明
15美坂助手 588 442 144馬なり　18美坂上翔 571 423 133馬なり併
22美坂助手 576 430 144馬なり　25美坂ルメー 533 388 120馬なり併
29美坂助手 551 402 135馬なり　1美坂上翔 565 412 125馬なり
↗ 大柄でありながら馬体に一切の無駄がない。迫力◎【A】

2 **トーセンア** 南W稍 54.3 39.5 13.0⑨馬なり
27南BW稍助　手 70.6 55.2 41.0 13.4⑧馬なり
1南BW稍助　手 69.7 53.5 38.8 12.7⑧強めに
↗ 大きなアクションでダイナミックに。迫力十分。【A】

3 **マイティー** 南W稍 68.5 54.1 40.7 13.9⑥馬なり併
1南BW稍助　手 68.5 53.9 40.2 13.9⑥馬なり
→ 使い込んでギリギリの体つき。上積みは望み薄。【C】

4 **ニシノウラ** 南W稍 72.6 56.9 41.3 13.4⑧馬なり併
15美坂助手 604 457 147馬なり
18南BW稍助　手 68.6 52.5 38.6 13.3⑥馬なり併
25南BW稍助　手 52.9 38.3 12.9⑦馬なり先
29南BW重助　手 57.8 42.9 13.3⑧強めに併
1美坂助手 584 436 138馬なり
→ 柔軟な脚さばきでテンポが良い。好気配をキープ。【B】

5 **タイセイプライド** 栗坂 Mデム 52.1 39.2 12.5 末強め
7栗坂助手 567 409 134馬なり
12栗坂助手 537 383 127馬なり　15栗坂助手 558 394 134馬なり
18栗坂助手 516 378 125一杯追　22栗坂助手 537 385 130馬なり
25栗坂Mデム 519 379 122一杯追　1栗坂Mデム 536 401 136馬なり
→ 先週の51秒台は非常に優秀。久々の不安なく順調。【B】

6 **カシアス** 函W良 70.8 55.0 41.0 13.3⑦馬なり
13栗坂助手 551 401 125馬なり　15栗坂助手 585 418 130馬なり
18栗坂助手 518 378 129強めに　22栗坂助手 554 405 137馬なり
25栗CW重助　手 6F82.9 68.1 52.7 38.8 12.5⑦馬なり先
1栗CW良浜　中 6F79.8 64.3 50.1 37.9 12.0④強めに先
（古500エスポワールパレス一杯の内を追走３騎先着）
→ 中間から目立つ動きだったが、直前も実に軽快。【A】

7 **モリノラスボ** 門坂 36.6 12.4 不明
26門坂五十 447 136不明　29門坂五十 365 123不明
☆ ラスト２ハロンが23秒９なら上々。気配は上々。【B】

8 **アサクサゲンキ** 栗坂 武豊 51.6 38.1 12.9 馬なり併
19栗坂助手 526 387 129一杯追遅　22栗坂助手 590 427 132馬なり
25栗坂武豊 525 384 133一杯併　1栗坂助手 522 385 128一杯追先
（古500ビッグリシタナモ一一杯に先行1.2秒先着）
→ ひと追いごとに時計も詰め、態勢は整っている。【B】

9 **エントシャ** 栗CW良 6F87.7 69.4 53.5 38.7 12.1⑧馬なり先
19栗坂助手 565 408 132馬なり
25栗CW重助　手 6F80.7 64.7 50.8 37.9 13.0⑧馬なり併
1栗CW良助　手 6F82.7 65.6 50.7 37.7 11.9⑦馬なり先
（古オープンリーゼントロック一杯の外で先行１騎先着）
↗ まだ発展途上でも、やればやるだけ動く。侮れぬ。【B】

10 **ピースユニ** 南W稍 54.2 40.4 13.0⑦馬なり併
25南BW稍助　手 56.0 40.7 13.2⑦馬なり併
29南BW重助　手 57.2 41.4 13.5⑧馬なり先
1南BW稍内田博 68.1 53.1 39.0 13.4⑤馬なり先
（古オープンサノイチ一杯の内を追走１騎先着）
↗ 稽古駆けらしく機敏な身のこなし。さらに上昇。【B】

11 **トキノメガ** 南W稍 54.7 40.6 13.7⑦馬なり
1南BW稍助　手 70.7 54.5 41.0 14.3⑦馬なり遅
（古500クラウンアゲン馬なりの内４騎遅れ）
→ 追わず遅れて心配ないが、硬さがあり芝はどうか。【C】

## 京王杯２歳ステークス　過去５回の成績

▼表右端の金額は、上から単勝・馬連・馬単の払戻し金額です。

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24東京 | 12 | エーシントップ | 牡二 | 55 | 浜　中 | 1.21.2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 650 |
| 芝1400 | 1 | ラブリーデイ | 牡二 | 55 | 川　田 | ¾ | 2 | 3 | 2 | 7 | 4900 |
| 良16頭 | 15 | カオスモス | 牡二 | 55 | 内田博 | 1½ | 5 | 3 | 4 | 8 | 8700 |
| 25東京 | 13 | カラダレジェンド | 牡二 | 55 | 田　辺 | 1.23.1 | 4 | 2 | 2 | 5 | 1570 |
| 芝1400 | 7 | クインズハリジャン | 牡二 | 55 | 藤田伸 | ½ | 2 | 3 | 3 | 6 | 7110 |
| 良14頭 | 6 | ラブリープラネット | 牡二 | 55 | 福　永 | ⅝ | 2 | 3 | 3 | 2 | 16910 |
| 26東京 | 3 | セカンドテーブル | 牡二 | 55 | 戸　崎 | 1.21.5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3440 |
| 芝1400 | 1 | サフィロス | 牡二 | 55 | 三　浦 | 1½ | 10 | 10 | 7 | 4 | 9560 |
| 良12頭 | 9 | ニシノラッシュ | 牡二 | 55 | 田　辺 | ½ | 7 | 7 | 7 | 1 | 23830 |
| 27東京 | 18 | ボールライトニング | 牡二 | 55 | 蛯　名 | 1.22.6 | 5 | 3 | 2 | 2 | 570 |
| 芝1400 | 15 | アドマイヤモラール | 牡二 | 55 | 田　辺 | 1¼ | 7 | 5 | 4 | 6 | 4520 |
| 良18頭 | 4 | シャドウアプローチ | 牡二 | 55 | Cデムー | ⅝ | 2 | 3 | 4 | 1 | 6880 |
| 28東京 | 13 | モンドキャンノ | 牡二 | 55 | ルメール | 1.21.9 | 10 | 9 | 8 | 3 | 740 |
| 芝1400 | 8 | レーヌミノル | 牝二 | 54 | 浜　中 | ½ | 3 | 2 | 2 | 1 | 930 |
| 良13頭 | 9 | ディバインコード | 牡二 | 55 | 柴田善 | 3 | 3 | 4 | 2 | 4 | 2580 |

## データ室

❶馬連平均＝5400円
▼1人気⑨⑥③③❷着で、5人気以下が6連対。波乱度大。
❷キャリア
▼連対全馬がキャリア3戦以下。9頭は2戦目までに初勝利をあげている。
❸牝馬は苦戦
▼牝馬は〔0 1 0 11〕。
❹重賞勝ちは過信禁物
▼重賞勝ち馬は2 1 3 1 5人気で⑧⑨⑥❷⑪着。
ヒント▼9エントシャイデン

**東京芝1400m ジョッキー連対率ベスト10**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 横山典 | .250 |
| ② | 戸崎 | .239 |
| ③ | 蛯名 | .201 |
| ④ | 内田博 | .190 |
| ⑤ | 田辺 | .187 |
| ⑥ | 岩田 | .164 |
| ⑦ | 吉田豊 | .154 |
| ⑧ | 三浦 | .153 |
| ⑨ | 柴田善 | .148 |
| ⑩ | 松岡 | .142 |

2012～2016年 60騎乗以上

## 競馬人情　吉川良

先週の土曜日の東京競馬での、ルメール騎手の7勝にはびっくり。1番人気で4勝、2番人気で2勝、3番人気で1勝だった。

その日は東京競馬でのびっくりがもうひとつ。全12Rのうち、ノーザンファームの生産馬が7勝した。

私は若い競馬記者に、そのびっくりを言って話題にしようとしたのだが、彼にとってはそんなにびっくりでもないらしくて、話題にはならなかった。

その次の日、大雨になってしまった天皇賞・秋の日、競馬場の帰りの南武線で、登戸駅で私は坐れた。

「キタサンブラック、出遅れたじゃないですか。勝てないと思いましたよ。

ところが武豊、いつのまにかうまい位置につけて、早めに抜けだして勝っちゃった。

武豊が天才というの、よく判らなかったんだけど、今日はちょっと、天才が判った」

と私のとなりの青年が、連れの老人に言った。青年がびっくりしたのだと私は思った。

「豊が凄さを見せつけると、わたしはタケクニ（豊の父の武邦彦）を思いだし、さすがターフの魔術師の息子だと思う。馬は血統だが、人も血統かもな」

と老人が青年に言っている。

京王杯2歳S。タワーオブロンドンが強いが、私の好きなラビットランの弟のアサクサゲンキからロンドンへの馬単。

| 馬単オッズ 上位人気 | |
|---|---|
| 12 | 12.8 |
| 13 | 57.7 |
| 14 | 50.7 |
| 15 | 7.5 |
| 16 | 16.0 |
| 18 | 9.7 |
| 19 | 8.3 |
| 110 | 13.6 |
| 21 | 33.0 |
| 51 | 14.6 |
| 52 | 55.3 |
| 56 | 53.8 |
| 58 | 49.7 |
| 59 | 43.6 |
| 510 | 48.2 |
| 61 | 32.2 |
| 65 | 73.4 |
| 81 | 21.0 |
| 85 | 68.9 |
| 91 | 18.1 |
| 95 | 47.3 |
| 96 | 74.8 |
| 98 | 63.3 |
| 910 | 73.4 |
| 101 | 47.9 |

| 東京 11R 3連単 | 上位人気 |
|---|---|
| 158 | 24.4 |
| 159 | 26.1 |
| 156 | 29.3 |
| 152 | 34.1 |
| 195 | 39.4 |
| 185 | 41.0 |
| 165 | 49.9 |
| 1510 | 52.6 |
| 518 | 52.8 |
| 519 | 56.3 |
| 186 | 59.3 |
| 168 | 60.0 |
| 125 | 61.4 |
| 198 | 62.4 |
| 516 | 63.9 |
| 915 | 66.8 |
| 189 | 68.9 |
| 192 | 70.7 |
| 196 | 74.6 |
| 512 | 75.5 |
| 1105 | 81.3 |
| 581 | 81.4 |
| 169 | 81.7 |
| 129 | 83.1 |

| 東京 11R 3連複 | 上位人気 |
|---|---|
| 158 | 11.2 |
| 159 | 12.3 |
| 156 | 13.5 |
| 125 | 14.0 |
| 189 | 19.1 |
| 168 | 19.9 |
| 1510 | 20.3 |
| 129 | 21.7 |
| 128 | 23.0 |
| 169 | 23.4 |
| 1910 | 28.6 |
| 126 | 30.2 |
| 1810 | 33.8 |
| 145 | 37.4 |
| 568 | 40.7 |
| 1610 | 41.8 |
| 1210 | 42.4 |
| 589 | 44.9 |
| 135 | 51.3 |
| 258 | 52.4 |
| 259 | 53.8 |
| 569 | 58.5 |
| 148 | 64.5 |
| 123 | 69.0 |
| 124 | 69.6 |

## 編集長のバ

▼「京王杯2歳S」は、やがて年度代表馬となる断然人気のモーリス（父スクリーンヒーロー）が、4年前の13年、世界のムーア騎手が乗って出負けし、かかって⑥着に沈んだ一戦。

キャリアの浅い同士の2歳戦なので、そういうこともあれば、97年、スクリーンヒーローの父となるグラスワンダーが独走したレースでもある▲

▼**タワーオブロンドン**〈父レイヴンズパス〉は、持ち込み馬だが、16年の皐月賞馬ディーマジェスティ〈父ディープインパクト〉のイトコにあたる注目馬。

ファミリーは世界を代表する著名牝系で、タワーオブロンドンの3代母ドッフザダービーは、輸入された英ダービー馬ジェネラスなどの母である▲

▼その半姉は、凱旋門賞に2回も挑戦した牝馬トリリオン。その代表産駒が、ジャパンCに2回来日し、凱旋門賞には3回も出走したトリプティク。

13年の凱旋門賞でオルフェーヴルを離して独走し、14年にはゴールドシップなど3頭も挑戦した日本馬を相手にせず、凱旋門賞2連覇を達成した牝馬トレヴ（3度目は④着）は、その4代母がトリリオンになる▲

▼タワーオブロンドンの父レイヴンズパス〈その父はゴーンウエスト直仔イルーシヴクォリティ〉は、マイラー色の濃いスピード系だが、欧州から遠征した米BCクラシック（AW10F）をレコードで勝ってみせた。

母の父に登場する芦毛のダラカニは、仏ダービー馬であると同時に、03年の凱旋門賞馬でもある。タワーオブロンドンはここまでは短距離志向だが、ここを楽に突破するようだと、距離を延ばしてくるだろう▲

▼1200mの小倉2歳Sを好位から抜けて快勝したアサクサゲンキは、外国産馬。

ローズSで直線一気を決めた3歳牝馬ラビットラン〈父タピット〉の半弟になる。

ストームキャット直仔の父ストームミーアトランティックは、自身はダートの短距離型だったが、種牡馬としての代表産駒は予測に反し、芝の中距離タイプに集中している。

ここまでは短距離専門のアサクサゲンキは、母方は短距離限定ではないから、意外性を示している半姉ラビットランと同じように、本当は2000mくらいまで平気でこなす可能性を秘めている▲

## これで決まり！　大川浩史

「レース展開」の馬番数字の中で❶…などの白ヌキ数字で表したものは、その レースの「展開注目馬」です。

**ダートはまだ湿っている**

▼4回東京は「1日中芝ダートともに良馬場」という日がなかった。ごく個人的には道悪（の時に馬券を買うこと）が嫌いではないのでそれはそれで構わないのだが、「サトノクラウンをいくら買っても大丈夫」と確信してオケラになってしまった。

▼今週の降雨量は多くないが、先週の降雨量（東京競馬場のマンホールから水が噴出すほど）があまりにも多かったし、気温が上がっていないことから、土曜のダートは稍重、もしくは稍重に近い馬場だろうと読む。

▼**バスカヴィル（東京8R）**の1勝目は稍重の東京ダート千六で、4馬身差の圧勝。②着が東京ダービー②着のキャプテンキングだった。東京ダービーの6馬身差②着に価値があるのかと言われれば微妙だが、キャプテンキングは500万を勝ちヒヤシンスSも0秒5差の⑤着。バスカヴィルも（湿った東京ダートなら）500万は勝てる。

## 発見！スゴイ馬　小木曽大祐

2週連続、台風の影響を受けて大雨となりました。適性もありますが、コース取りの差も大きく、普通の馬場なら…と巻き返しを狙います。

まず③Rの**フラッシュテソーロ**。バラけた馬込みで前に馬が置けず、通過順どおりに内めから進出。バテる馬場ではこれが罠、息を入れ辛く、失速も仕方なしの競馬です。兄弟馬に活躍馬がそろう良血馬らしく、好馬体の持ち主。ひと叩きで稽古の動きも変わり、改めての一戦！

⑧Rは**ハイアーグラウンド**。馬込みから伸びてきた前走ですが、上がりの速い競馬で、狭い進路は大きなロス。ただ、ためる競馬が出来たのは大収穫、一戦ごと状態面の上積みも大きく、単勝から勝負します。

## 勝負の一手　郡和之

**東京11R トーセンアンバー**

スローで展開向かなかったサフラン賞も、坂を上りきってからの脚は目を引くものがあったし、キャリアを積みつつ地力強化しているのは明白。とはいえ、まだ荒削りで前向きすぎる面が残っているし、走りの大きな馬。東京・千四なら現状ベストに近い条件だろう。重賞でも差はない。

**◆重賞勝ち馬の成績◆**

19年 ハートオブクィーン　エフティマイア　⑩着
20年 フィフスペトル　❷着　⑬着
22年 ブラウンワイルド　⑫着
23年 モンストール　④着
24年 マイネルエテルネル　⑧着
　　 テイエムイナズマ　⑨着
26年 アクティブミノル　⑥着
28年 レーヌミノル　❷着
　　 レヴァンテライオン　⑪着
＊（）内は人気